

2024年8月7日
TOPPANホールディングス株式会社

TOPPANホールディングス、「IT Japan Award 2024」グランプリ受賞
システム基盤のモダナイゼーションを実現させ
経営基盤を強化した取り組みが高く評価

TOPPANホールディングス株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 CEO:磨 秀晴、以下TOPPANホールディングス)は、日経コンピュータ主催の「IT Japan Award 2024」にて、TOPPANグループのシステム基盤のモダナイゼーションの取り組みが評価され、最優秀賞となるグランプリを受賞しました。



日経コンピュータ編集長 IT Japan Award 2024 審査委員長 玉置 亮太(左)
TOPPANホールディングス 執行役員 デジタルイノベーション本部長 伊藤 隆司(右)

「IT Japan Award」は、情報システムを構築・活用し、顕著な成果を上げている企業・団体を発掘し、成功のノウハウを広く共有するという目的のもと、日経コンピュータが 2007 年から毎年、企業や団体を表彰しているものです。過去 1 年間に『日経コンピュータ』および、「技術×ビジネス」の最前線を伝えるデジタルメディア『日経クロステック』に掲載された IT 活用記事を対象として、社外から審査員を招き審査されました。(※1)

今回の受賞は、審査基準である三つの視点「経営革新・業務改革への貢献度」「システム構築・活用における独創性」「採用技術・手法の先進性」を基に審査された結果、基幹系システムのモダナイゼーションにおいて、内製化を推し進めると同時に「Fit to Standard」を徹底してアドオン開発を最小限に抑えたことに加え、グループ再編という大きな転換期に対して、稼働スケジュールを前倒しして完遂した取り組みが、高く評価されました。



■ TOPPANグループにおけるシステム基盤のモダナイゼーションの取り組みについて

TOPPANグループは、経営基盤を強化するべく、経営とシステムの一体化や、経営情報の一元化を目指すシステム基盤のモダナイゼーションを進めるために、「SAP S/4HANA」の稼働を2023年より開始しました。これにより、グループ会社間のデータ統合・共有が実現し、意思決定の迅速化や業務効率の向上が可能となりました。さらに、「SAP BTP」を利用して開発したワークフローやユーザーインターフェース画面の改善を通して、業務生産性が2倍以上向上しています。

今後も TOPPAN ホールディングスは、システム基盤のモダナイゼーションをさらに進めることで、データの一元管理、業務プロセスの効率化、そしてイノベーションのさらなる促進を目指します。また、デジタル化とサステナビリティを重視した経営のもと、環境/社会/ガバナンスの取り組みを強化し、ステークホルダーとの関係をさらに深化させることで、企業価値の最大化を目指します。

※1 日経 BP 社サイト: <https://www.nikkeibp.co.jp/atcl/newsrelease/corp/20240627/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上